

授業科目 生涯スポーツ論

| | | | | |
|------------------|------|------|-------|----|
| 【担当教員名】 小田切毅一 | 対象学年 | 1 | 対象学科 | 林 |
| | 開講時期 | 後期前半 | 必修・選択 | 必修 |
| | 単位数 | 1 | 時間数 | 15 |

【<概要>又は<一般目標：G I O>】
人間のスポーツの営みは、生涯に及ぶライフステージの移り変わりに伴ってどのように変化するのだろうか。人間らしい質の高い生活をデザインしていく上で、生涯に及ぶスポーツの学習は、生きる上でのどんな必要性や意味をもたらすのだろうか。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

- ・生涯にわたってスポーツと関わりをもつことの意義について考え、その必要性を理解する能力を身につける。
- ・スポーツが生涯にわたるライフステージで、どんな学習のニーズをもたらすかについて理解し、人に説明できるようになる。
- ・余暇行政や教育行政などと関わって、スポーツにかかわる地域スポーツやクラブのあり方などに関心をもてるようになる。

| 回数 | 授業計画又は学習の主題 | SBO | |
|----|--|-----|--------------------|
| | | 番号 | 学習方法・学習課題又は備考・担当教員 |
| 1 | Sports for allの理念からみたQOLへの問いかけ | | |
| 2 | 生涯スポーツが提唱される今日の社会的条件や制約など | | |
| 3 | 幼年期のこどもとスポーツ：成長・発育・発達に応じた遊びの問題考 | | |
| 4 | 学齢期の生活におけるスポーツとのかかわり：文武両道への心身論 | | |
| 5 | 職場生活におけるスポーツとのかかわり：レジャー・レクリエーションから | | |
| 6 | セカンドライフとスポーツとの関わり：自立的な老人像とスポーツ | | |
| 7 | スポーツへの新たな取り組みのために、健康・余暇問題、高福祉問題、環境問題など | | |
| 8 | 総括論議：人間だけが何故生涯スポーツを学習するのだろうか | | |

| 【使用図書】 | <書名> | <著者名> | <発行所> | <発行年・価格・その他> |
|-------------------|-------------|-------|-------|--------------|
| 教科書 (必ず購入する書籍) | 授業に先立って適宜提供 | | | |
| 参考書 | 必要に応じ紹介する | | | |
| その他の資料 | | | | |

| | |
|----------------------------|-----------|
| 【評価方法】 出欠の実績＋試験ならびにレポート | 【履修上の留意点】 |
|----------------------------|-----------|